

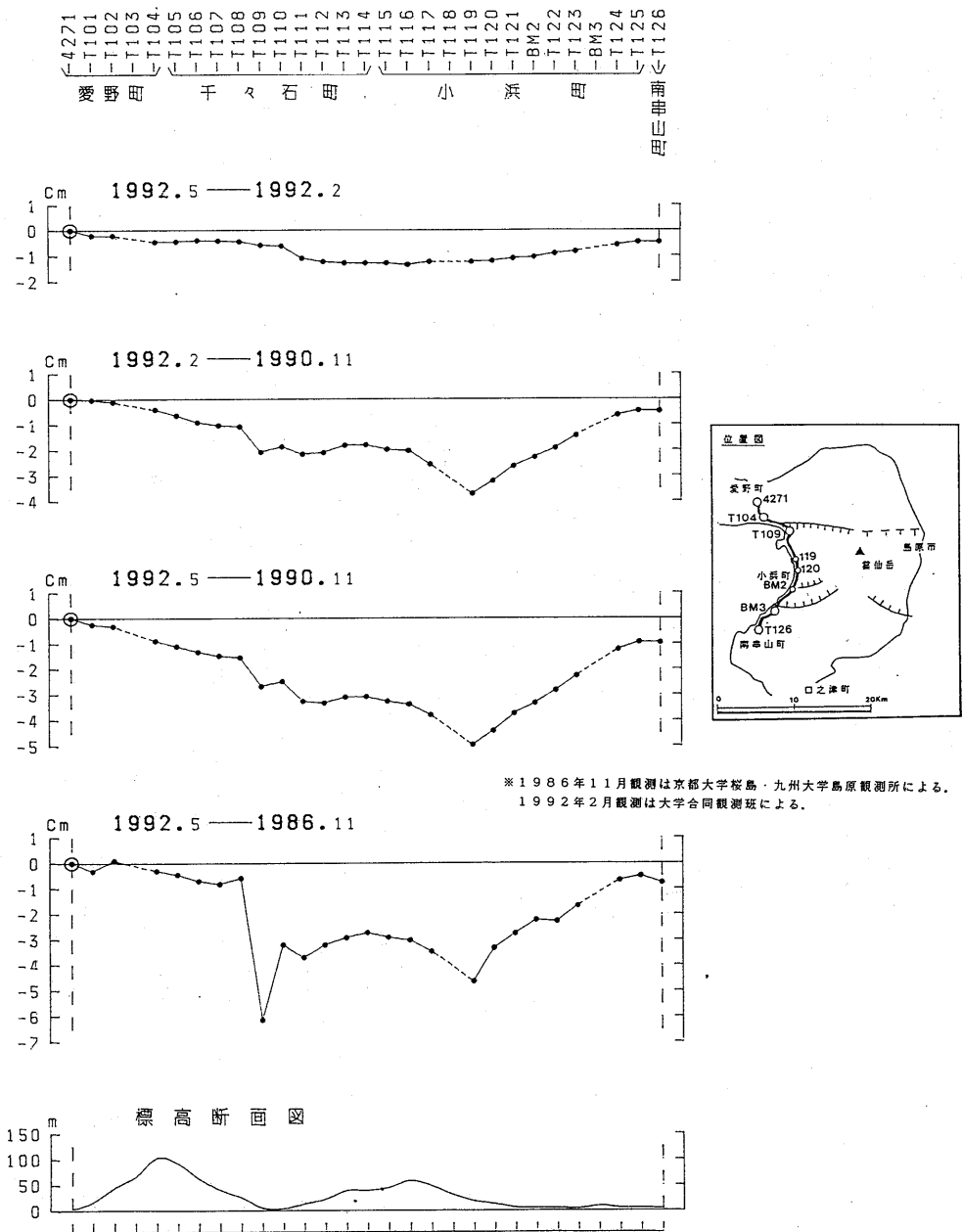
雲仙岳周辺の地殻変動*

建設省国土地理院

第1図は愛野町から南串山町に至る水準測量の結果を示したものである。溶岩の地表への噴出が原因と考えられる沈降が継続している。第2, 3, 4図は、GPS連続観測に関する図である。第2図は最近の観測結果を示したものであるが、仁田峠関係の測線に距離の縮みの傾向がみられる。第3図は、昨年2月(折橋については昨年7月)の観測開始から1992年5月までの観測結果を示したものである。1991年5~7月までの仁田峠関係測線の伸びとその後9月までのわずかな縮み、さらに1992年にはいって3月頃からの縮み傾向が認められる。1991年9月と10月の間はバイアスがある可能性がある。第4図は、仁田峠-礫石及び仁田峠-九大観測所間の観測値を昨年(1991)と本年(1992)について同時期で比較したものである。昨年と今年ではパターンが明らかに違っており、これらの変動が季節変化によるものではないことがわかる。

* Received 17 July, 1992

愛野町～南串山町間の上下変動

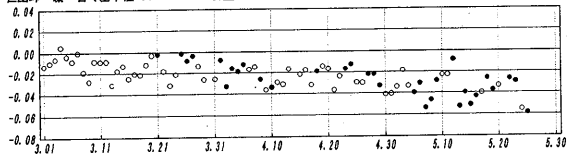


第1図 愛野町～南串山町間の上下変動

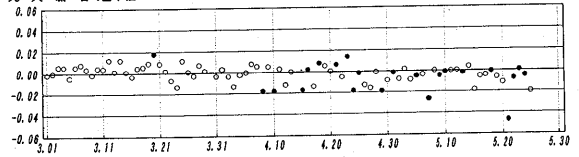
Fig.1 Level changes along the route from Aino to Minamikushiyama

GPS 連続観測 (雲仙地区) 速報

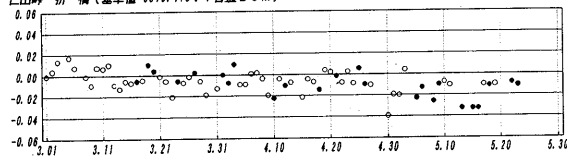
仁田峠-礫石 (基準値 5240.320 : 1目盛2cm)



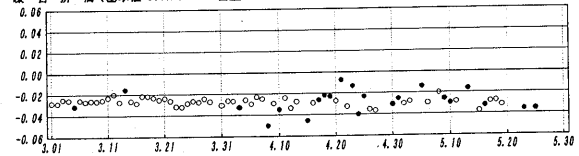
九大-礫石 (基準値 5521.790 : 1目盛2cm)



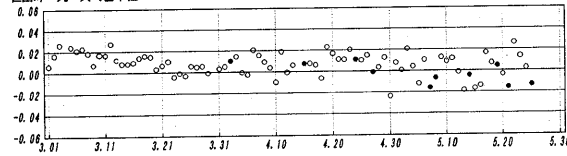
仁田峠-折橋 (基準値 6519.110 : 1目盛2cm)



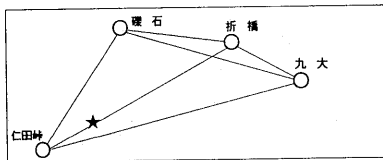
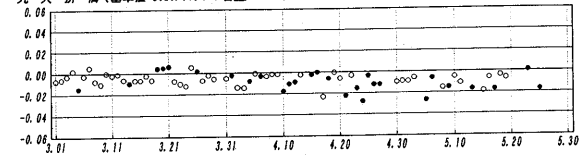
礫石-折橋 (基準値 3011.440 : 1目盛2cm)



仁田峠-九大 (基準値 7609.540 : 1目盛2cm)



九大-折橋 (基準値 2629.140 : 1目盛2cm)



(最終観測 5月25日 16時-18時)

○ RMSが制限内 ● RMSが制限外

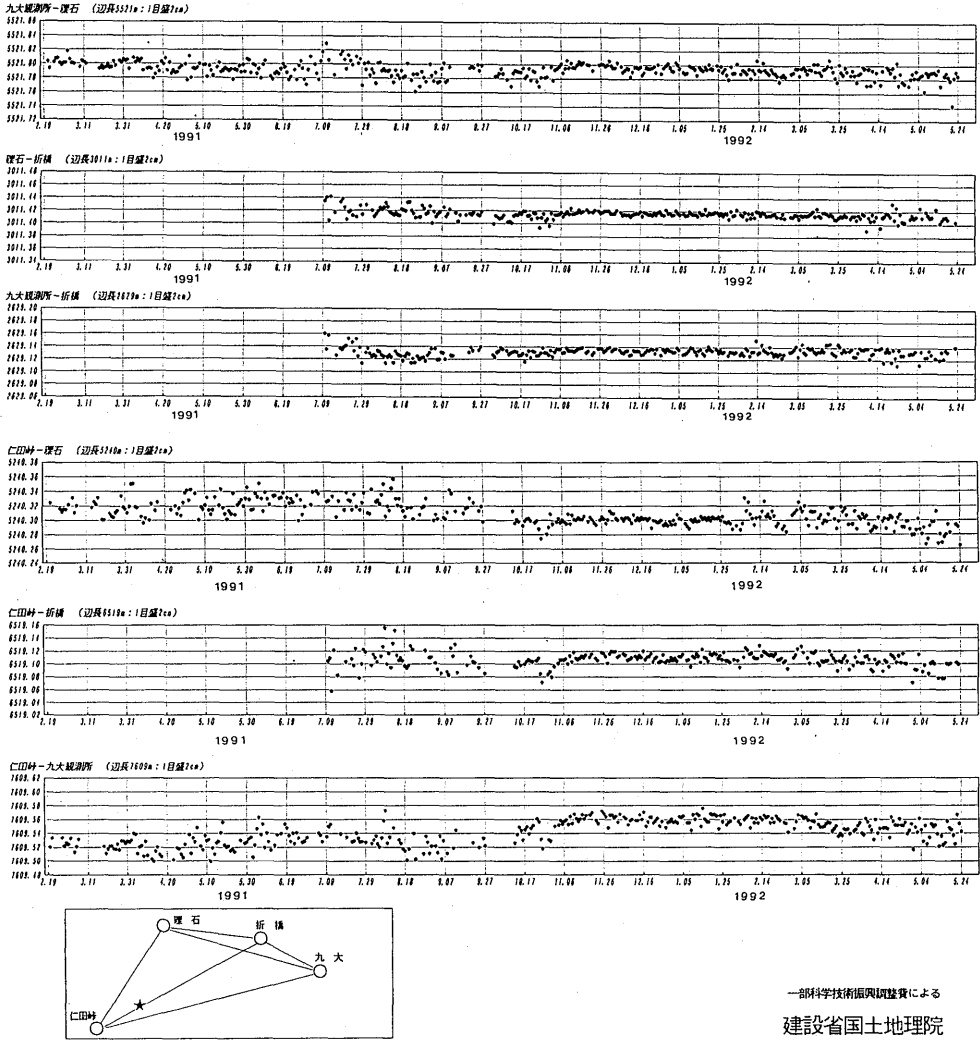
一部科学技術振興調整費による

建設省国土地理院

第2図 GPS 連続観測結果

Fig.2 Continuous distance change observation with GPS at Mt. Unzen (March 1, 1992 - May 25, 1992).

雲仙地区GPS連続観測（観測開始から全期間）



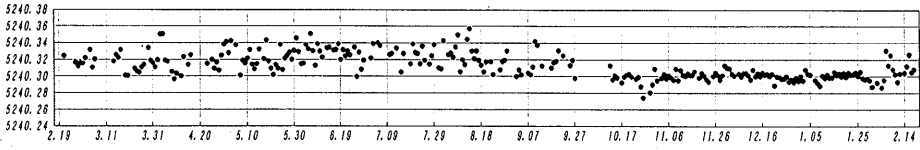
第3図 GPS連続観測結果（観測開始から全期間）

Fig.3 Continuous distance change observation with GPS at Mt. Unzen (February 20, 1991 - May 25, 1992).

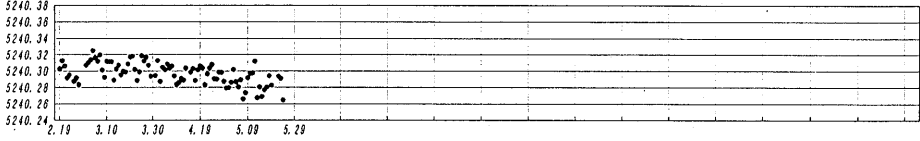
雲仙地区GPS連続観測（同時期での比較）

仁田崎-礫石（辺長5240m：1目盛2cm）

1991年2月19日~1992年2月18日

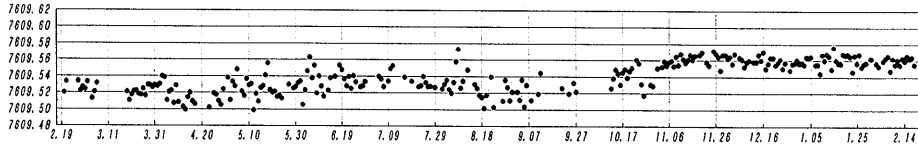


1992年2月19日~

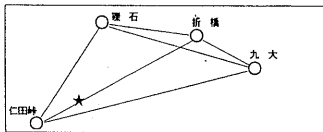
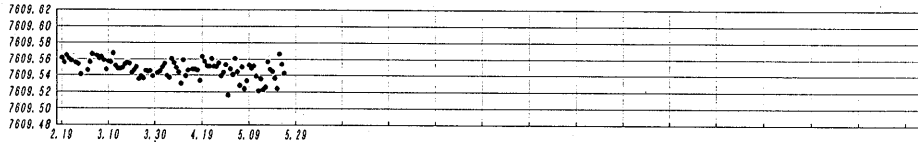


仁田崎-九大（辺長7609m：1目盛2cm）

1991年2月19日~1992年2月18日



1992年2月19日~



一部科学技術振興費による
建設省国土地理院

第4図 GPS連続観測結果（同時期での比較）

Fig.4 Continuous distance change observation with GPS at Mt. Unzen
(Comparison of the same time between 1991 and 1992).